



通所支援事業の ひとコマ



青空に新緑が映える季節となりました。通所支援の4月は、新しいスタッフを迎えて少しバタバタしつつも、スタッフの緊張感が利用者さんに伝染しないよう「ゆったり・のんびり・ご安全に」をモットーに、リラックスして1日過ごしていただけるように心がけました。お散歩ではタンポポの綿毛や四葉のクローバー探しをしたり、プランター菜園のイチゴやカブに水やりをしたりしました。実はこのカブ、去年の秋に収穫したカブのプランターを一冬ほったらかしにした挙句、じゃがいもを植えたところからひとり生えした強者なんですよ。

また、早々に桜が散ってしまったので、桜の若葉を摘んでレンジでチンして塩もみして、「さくら餅の香り」を再現してみました。普段のスヌーズレン療育ではペパーミントやラベンダーのアロマオイルを使うことがありますが、突然の「さくら餅の香り」に目をクリッと見開いたり、お口をもぐもぐさせたり、鼻をくくんくさせたりと、天然スヌーズレンを存分に楽しんでもらえたようでした。

(療育指導室長
村松 順子)



2病棟の子どもたちの生活のひとコマ

園芸活動 にじいろガーデン

スズメ?か、カラス?か、
それとも他の害獣の仕業か?



昨年秋に植えた球根が、幾度となく土から掘り返されるというショッキングな出来事が続いていましたが、そのたびに植え直した甲斐もあっ

て、予定より本数は少ないですがチューリップとアイフェイオンが無事花を咲かせてくれました。

想定外の出来事が起こっても慌てずに植え直す=もう一度やり直せば、花を咲かす=希望が持てるということ、少なからず今回の体験で子どもたちが感じてくれているといいなと思います。

スプリング・スターフラワーという別名があるアイフェイオンの花の星形から連想できる花言葉として「星に願いを」があります。ひとまず次回の園芸活動の際は、害獣被害に遭わないことを願いたいですね…。

(保育士 伊藤 真衣)

5病棟の生活のひとコマ 78



暖かく過ごしやすい春も段々と遠ざかり、日差しが暑く感じる時期になってきましたね。少しずつ夏が近づいてきているなあと感じる今日この頃です。

さて5病棟では、毎年恒例となっているお花見を行いました。今年は例年よりも桜の開花が早かったようで、5病棟周辺の桜もとても綺麗に咲きました。満開の桜を前に、目をキラキラと輝かせ嬉しそうにする患者さんの姿がとても印象的でした。また中庭にある花壇に



は、隣接するかがやき特別学校の先生や生徒の方々が

植えてくださったお花が一面に咲いており、皆さん夢中になって観賞していました。一步外へ出たらこんなに綺麗な花壇があって、近くに大きな桜の木があるのは5病棟の誇れるところの一つだと思います。皆さんも是非5病棟の中庭へ遊びに来て、季節を感じてみてはいかがでしょうか。
(児童指導員 森 日奈子)